

## 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策検討本部

### および作業部会の設置について

令和2年5月18日

日本口腔衛生学会理事長 山下喜久

(新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策検討本部長)

新型コロナウイルス感染症対策として、緊急事態宣言が4月7日に7都府県を対象として発出され、同月16日には対象を全国に広げることになりました。本学会の会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。診療、教育、行政とどの分野におきましてもこれまでに経験のない多大な影響を受け、先行きの見えない中で多くのお悩みを抱えておられることと存じます。今回の、緊急事態宣言発出の法的根拠となっている新型インフルエンザ等対策特別措置法案は新型コロナウイルス感染症に対処できるようにと今年3月13日に改正されたばかりですが、それでも国民に対する強制権もなければ罰則もありません。その一方で、明確な補償規程もないため、基本は国民の自粛を基に対策を進めなければなりません。歯科医療も状況は同じであり、不要不急の不要は別としても、どこまでの不急を歯科医療で自粛すべきかは、政府からも明確な指示もなく、歯科医療者と受診希望者の自己裁量に委ねられていると言っても過言ではありません。

このような状況にある会員の悩みを少しでも解消するための一助とすべく、本学会で理事長および副理事長、広報委員長を構成員とした新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策検討本部を立ち上げました。さらに、その下部に同作業部会を設け、会員ならびに一般社会に有益となる情報を収集・解析し、学会会員に限らず広く一般社会に公表するに足る結果の作成を進めております。とは言え、会員や一般社会の皆様にご満足いただける情報を提供できるか否かは定かではありません。しかし、頭を抱えて手を拱いて傍観しているだけでは何も始まりません。この「唾液を利用した新型コロナウイルス PCR 検査についての解説」は、久保庭大阪大学准教授を作業部会長とする作業部会で作成された本対策検討本部からの最初の情報提供となります。今後も多岐にわたって情報収集に努め、本学会員のみならず歯科界全体にとって有益な情報をもたらし、ひいては国民の口腔保健の持続的な維持増進を牽引できればと願っております。

本学会活動への皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

### 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策検討本部

[本部長] 山下喜久 (理事長・九州大学)

[副本部長]

天野敦雄 (副理事長・大阪大学)

森田 学 (副理事長・岡山大学大)

深井穫博 (副理事長・深井保健科学研究所)

伊藤博夫 (広報委員長・徳島大学)

### 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策検討作業部会

久保庭雅恵 (作業部会長・大阪大学：医科歯科連携, 基礎研究, 担当)

竹下 徹 (副作業部会長・九州大学：医科歯科連携, 基礎研究担当)

杉山精一（杉山歯科医院・日本ヘルスケア歯科学会代表：予防歯科臨床ガイドライン担当）

平田創一郎（東京歯科大学：広報担当）

小川祐司（新潟大学：[国際情勢調査担当]

川戸貴行（日本大学：医科歯科連携担当）

今井健一（日本大学：医科歯科連携担当）

片岡宏介（大阪歯科大学：基礎研究担当）

岩崎正則（東京都健康長寿医療センター研究所：疫学研究担当）

竹内研時（名古屋大学：疫学研究担当）

[アドバイザー]

柳澤智仁（東京都多摩立川保健所 歯科保健担当課長）

#### 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 対策検討作業部会長 久保庭 雅恵

作業部会長を拝命いたしました久保庭でございます。今後、COVID-19との闘いが長期化することが避けられない情勢となっていることから、歯科領域においても、ウイズコロナ期、ポストコロナ期における安心安全な医療を提供するための戦略を構築する必要があると痛感しております。作業部会メンバーの先生方のご尽力により、この度作業部会としての初めてのプロダクトを上梓することができる運びとなりました。今後も、緊急アンケート結果の公表や有用な文献の紹介などを通じて、微力ながら社会貢献できればと考えております。会員の先生方からも、是非お力添えをいただきたく、何卒宜しくお願ひ申し上げます。